

村山ひでき

市政レポート

ひとをつなぐ まちをつくる



小金井市議会「みらいのこがねい」会派ニュース

コロナに負けるな!がんばろう小金井! 2020年 活動報告号

- 年頭所感～第4回定例会は3件の補正予算を含む全議案を賛成多数で可決
- 2020年を振り返って…第1回から第4回までの定例会と村山ひでき一般質問
- 12月議会で可決された新型コロナウイルス感染症の追加対策事業(抜粋)
- 市内の商工業者を守る!事業者支援金(第三弾)の実施を求める決議を全文掲載

2021年3月21日は 小金井市議会議員選挙(告示日3月14日)

2021年度
第1回定例会

市議選のため前倒し開会(1月22日から3月5日までの会期予定)



議員任期の後半2年間は総務企画委員会の委員長として取扱いの難しい案件を数多く担当することになった村山ひでき(12月10日)

新しい年を迎えました。皆様はどのようなお正月を迎えられたでしょうか。2020年は、新型コロナウイルスによるパンデミックが起きた年として歴史に刻まれ、我々の生活も大きく変わらざるを得なくなりました。

小金井市では、国が確保したワクチンが承認され次第、スムーズに接種を行うための準備の予算を12月議会で可決しました。治験データが少なく不安を感じる方も多いと思いますし強制力はありませんが、自治体としては準備を進めなければなりませんし、一昨年までは当たり前だった日常を少しでも取り戻す一歩にしなければなりません。

いまだに感染拡大が続く状況です。くれぐれも慎重にお過ごしいただき、皆様にとって希望に満ちた一年となるようご祈念申し上げます。

2021年1月吉日 小金井市議会議員 村山ひでき

11月30日～12月21日

第4回定例会 コロナ追加対策の補正予算3件など全議案を可決し閉会

市議会において、新庁舎と(仮称)新福祉会館建設に関し、市長案と市民案の比較検討を求める陳情書への反対討論(要旨)

2018年9月18日に6会派12人の議員が、①清掃関連施設の敷地内暫定移設を行わない、②新福祉会館を先行竣工とする、③敷地東側の樹木を残す、④新庁舎の免震構造の地下の駐車場利用する、という4点を考慮した新たな施設配置の検討案を作成するよう求めた申し入れを市長が受入れた結果、現行の「いわゆる市長案」となった事実があるのに、「いわゆる市民案」は清掃関連施設を敷地内で移設することが前提となった案である。陳情者は議会の経過を知らないのだと私は受け止めた。

「いわゆる市民案」は、これまで正式な議会などの場で議論されたこともなく、市内に配布されている陳情者ならびに陳情団体のチラシをみると、一方的に「建設工事は約16億円も安くなる」、「建設スケジュールは工事完了まで3ヵ月も短くなる」など、試算されたプロセス、具体的な根拠となるデータも示さずに主張した内容となっている。これらを本格的に比較検証するには、予算も時間も必要だが、その検証の結果、やはり「いわゆる市長案」に優位性があった場合、その検証に費やしたコストは住民監査請求等に耐えられるとは思えない。

そして、そもそも正式なプロポーザル当選案を無視して、後から出てきた案を同じものとして比較検証すること自体が非常識だ。そんなことをしたらプロポーザル参加者から損害賠償請求されてもおかしくないと考え反対する。

最終日12月21日に上程された一般会計補正予算(第10回)も含め、合計3件の補正予算を可決しました。多くが追加コロナ対策となった補正予算の内容は4面をご参照ください。

また、第4回定例会では、一部の議員や市民団体が主張する新庁舎建設案(=いわゆる市民案)を現行案(=いわゆる市長案)と比較検討することを求める陳情が審査されましたが、村山ひできは採決にあたり反対討論を行いました。やっと実施設計まで進んだ新庁舎建設をストップさせるような検証作業は不要であると主張した内容は左記の通りです。結果、反対15:賛成7:退席1で、この陳情は不採択となりました。

2020年の議会活動を振り返って…

2月19日～3月24日

第1回定例会

新型コロナ危機が発生！審議日程を大幅に変更し対応



本会議で2020年度一般会計予算の賛成討論をする村山ひでき。この時点ではマスク着用も義務でなく全員出席で議場にいましたが2021年1月現在では、飛沫防止の亚克力板の設置、出席者数を半分交代制にするなど感染防止に配慮しています(3月24日)

2月19日、再選を果たした西岡市長による施政方針演説で幕を開けた第1回定例会は、2月27日に安倍首相(当時)が小中高校などの臨時休校を要請し、急遽、市担当部局が対応する時間を確保するため翌日の28日より約1週間の休会に入りました。

再開した3月9日以降は、1日で2委員会をまとめて開催、6日間の予算特別委員会を3日間に短縮するといった工夫をしつつ審議時間を捻出して対応。

そして迎えた最終日の賛成討論で、**村山ひできは、現状のコロナ禍による深刻な市内の経済・景気動向について、実態調査をきめ細かく行ったうえで、効果的かつ現実的に利用しやすい対策を迅速に実施することを強く要望**しました。

閉会后、コロナの猛威が吹き荒れる不安と混乱の2020年が本格的に始まります…。

村山ひできの一般質問(2月26日)

1 庁内リスクマネジメントについて

残念ながら近年の小金井市では社会福祉委員報酬誤支給、通知誤発送、不適切会計処理など新聞報道がされるような業務ミスによる事件が頻発してしまいました。起きてしまった事態に対する「危機管理」と、これから起こるかもしれない事態に備える「リスク管理」の観点から再発防止策を検証し、改善策を提案しました。

2 ごみ減量施策について

2020年4月から日野市で可燃ごみ処理施設である浅川清流環境組合が**本格稼働**となりました。これまで広域支援で支えてくれた近隣他市の皆様に感謝するとともに更なる減量施策として、食品ロス削減(特に**フードドライブ事業**)とリサイクル事業所の**継続**を求めました。



1月27日、総務企画委員会は岐阜市を「内部統制の整備・運用」をテーマに行政視察。委員長席には「麒麟がくる」ノボリと「小金井がくる」とい「歓迎 小金井市議会」ノボリが！さすが戦国は美濃の国！この視察で得た調査内容は一般質問「庁内リスクマネジメントについて」の参考にさせていただきました。

5月21日

市議会全員協議会

待望の小金井市としてのコロナ対策が示される

コロナの感染拡大は止まらず、ついに4月7日には首都圏など7都道府県に緊急事態宣言が発出され、子ども達を含む市民や地域経済に深刻な影響を与えるものになりました。この間、村山ひできは、寄せられたご意見やご要望を所属している**会派みらいのこがねい**からの**コロナ危機に対する要望書**としてまとめ、4月13日、4月17日の2回にわたり市に提出。これらの多くが6月の第2回定例会で上程された**補正予算(第2回～4回)で実現**することになっていきます。

5月21日には、新型コロナウイルス感染症「小金井市緊急対応方針(第2弾)」について全員協議会があり、25日に市の独自支援策も具体的に予算化した一般会計補正予算(第2回)議案が市議会に配布されました。せっかくの支援策も早く実行しなくては意味がありません。早期に実施するためには6月1日からの第2回定例会で市議会の議決が必要であり、村山ひできは会議日程の最初の可決が必要と判断し調整に動きまわりました。



外出自粛要請中の緊急事態宣言下でも休んでいるわけにはいかない！皆様からの声をカタチにすべく**会派みらいのこがねい**は何度もオンライン会議を開催し要望書を作成しました。

6月1日～23日

第2回定例会

市議会で最初に主張！自己所有物件で営業する事業者でも20万円給付の対象となるよう要望→8月20日の臨時会で実現！



コロナ対策を重点的に審議した第2回定例会。この議会で村山ひできが特に強くこだわり主張したのが事業継続支援給付金(20万円)給付の対象拡大でした。議会で最初に発言し、強く要望した結果、8月20日の臨時会で実現することになりました。

現行の20万円給付金は市内に事業所を有し賃料を払っている等の受給条件があるが、自己所有物件等の場合でも受給可とすべきだ！
(6月1日:第2回補正予算に対する質疑)

村山ひできの一般質問(6月4日)

コロナ危機と戦い市民生活を守る小金井市を！

現在進行中の施策について休止できる事業やイベントの財源をコロナ対策にまわすことを求めました。また、必要な部署に人員が配置できているかを確認。土日祝日も含めた臨機応変な勤務体制の整備を提案しました。他にも小金井市緊急対応方針(第3弾)では、国や都の支援策からもれてしまった対象外の方々にも、次回以降の市の支援策を届けるべきであり、従業員、個人事業主、学生への支援もすべきだと主張しました。

9月1日～10月6日

第3回定例会 組替え動議で補正予算可決。決算審査は3年連続の不認定！

9月25日、補正予算(第6回)に対し組替え動議が提出されました。「組替え動議」とは、議案が議案に対しての修正要望などを示す手段であり、動議が可決された場合、要求された内容を市長部局が反映することを約束することで、動議に賛成した議員も残った原案に対し賛成することになります。

今回の組み替え動議の内容は、市長原案では財政調整基金に積んでいる16億8000万円の中から新型コロナウイルス感染症対策基金に1億8000万円を新たに積むというものでしたが、理由が弱いと村山ひできは判断し反対討論(右記参照)。しかし、議会多数は組替え動議に賛成。市長が次回の補正予算で要求箇所を修正することを表明し原案が可決されることになりました。

また、最終日の10月6日、決算認定は**反対17:賛成6**で3年連続の不認定!村山ひできは賛成(認定)しましたが、西岡市長1期目のラストイヤーに対し、議会の多くは厳しい評価を下しました。

組替え動議に対する反対討論(要旨)

議会として市長部局に対し、緊急を要するコロナ対策事業を早く行うべきと主張するのは当然であり、我が会派も高齢者世帯や学生への支援、安心して市民が生活できる検査体制の充実といったコロナ対策の要望をしているところだ。

しかし、コロナ対策基金に行政部局が新たな対策費を積んでいないから政治姿勢を示すべきという理由で1億8000万円もの大きな金額を積んでおくというのは疑問だ。コロナ対策基金に積まなくとも、財政調整基金でコロナ対策にお金を使うことはできることを忘れてはならない。

1億8000万円の算出根拠は繰越金の一割で提案議員が一致できたからであり、具体的な使い方のイメージは提案されていない。しかも、これから市長部局から具体的なコロナ施策の提案があれば、1億8000万円を提案内容によっては取り崩して使うことも考えられるという。ならば、基金に積む意味がない。

よって、コロナ対策基金に積まなければならないとする理由が不十分と判断し、組替え動議に反対する。

村山ひできの一般質問(9月4日)

1 コロナ禍における災害対策

市が新たに作成したばかりの「避難所開設における感染症対策方針」、「警戒本部態勢マニュアル」、「小金井市自主避難所運営マニュアル」、「小金井市防災マップ」をもとに避難所施設の確保や人員体制について確認をしました。

2 東町のハト被害に迷惑なエサやり禁止条例の制定を

2020年6月から施行されている動物愛護法改正を使って、東町の市民の皆様から苦情が出ている無責任な餌やりによるハト被害対策と、多頭飼いや等の劣悪な環境で営業しているペットショップへの指導を求めました。

11月30日～12月21日

第4回定例会 (1ページ&4ページ参照) ※ここでは一般質問のみ掲載します

村山ひできの一般質問(12月2日&6日)

1 武蔵小金井駅周辺の整備

南口再開発第1地区の事業完了から約8年が経過し、第2地区の武蔵小金井シティクロスも2020年5月末にオープンしました。SOCOLA広場の管理、新庁舎へ移転後の本庁舎跡地(本町6丁目)の利用方針、北口まちづくりの現状、武蔵小金井駅からの始発便の増加要望について確認しました。

2 都市計画道路への対応は?

市民の多くが見直しを求めている3・4・1号線、3・4・11号線を現在策定中の小金井市都市計画マスタープランにどう表記するのか?また、これまで小金井市は市民や議会の声を受けて東京都に様々な要望をしてきましたが、現在、東京都は環境調査を始めており、あらためて市の意思を表明することを求めました。

第4回定例会 補正予算の新型コロナウイルス感染症対策(抜粋)

小金井市では新型コロナウイルス緊急対応方針第1弾から第4弾までを策定し、医師会等との関係機関と連携した感染症対策、市民生活や事業者等の皆様を支える支援策に取り組んでいます。既に第3弾までの予算規模は特別給付金を除くと約21億円となっており、さらに12月議会では11月20日に公表された第4弾方針に基づき多くの追加支援策を3件の補正予算で予算化しましたので一部をご報告します。また、市議会では**事業者支援金(第三弾)の実施を求める決議(下記の囲み記事参照)**も可決しましたのでご高覧ください。

事業名	事業の内容
① 高齢者 ICT活用支援	地域活動継続のため オンラインで交流する技術の習得 を目指す高齢者(講座受講者)の受講料等を補助する。
② 小中学校における感染防止	非接触式体温計、手袋、フェイスシールド、空気清浄機等を購入する。
③ 在宅要介護障がい者・高齢者緊急入院等事業	在宅で高齢者又は障がい者を介護する家族等がコロナに罹患した場合、要介護者の緊急入院の個室病床の通年確保、必要な検査と医療機関への移送に要した経費の補助をする。
④ 新型コロナワクチン接種事業	国が製薬メーカーから確保したワクチンの接種ができるよう接種履歴の管理システム修正、パソコン機器、接種券等の印刷や発送を準備する。 現時点では2021年3月の接種開始を想定。
⑤ ひとり親世帯への臨時特別給付金の再支給	基本給付の支給対象者に対して再度、同様の基本給付(再支給分)の支給を実施。

新型コロナウイルス「第三波」から市内商工業者を守るべく、事業者支援金(第三弾)の実施を求める決議

新型コロナウイルス感染症は、今秋から再び感染拡大に転じ、いわゆる「第三波」が全国的に猛威を振るっている。その影響で、GoToトラベル事業はついに全国一斉中止となった。感染拡大は収束の兆しすらなく、長期化する第三波の拡大が本市の商工業に与える影響は計り知れない。

この間、小金井市は、テナント営業している事業者に対する事業継続支援給付金を実施した。さらに、市議会の決議を踏まえて、自己所有物件で営業する事業者にまで対象を拡大し、事業者応援金を給付した。

事業継続支援給付金とともに事業者応援金も一定の効果を発揮しているところであるが、**今般の第三波に対しても、市内商工業者への新たな支援が必要である。**

事業継続支援給付金及び事業者応援金は、市議会が議決した予算額に到達せず不用額が生じている。その不用額の活用も含め、あらゆる工夫で最大限財源を確保して、事業者支援金(第三弾)を実施すべきである。

よって、小金井市議会は、市長に対し、来る令和3年第1回定例会に関連予算を提出すべく最大限努力することを求めるものである。

以上、決議する。

令和2年12月21日 小金井市議会



市内飲食店を支援する企画「応援弁当」を購入して大満足!(10月15日)

村山ひでき

【プロフィール】

- 1971年 新潟県南魚沼郡湯沢町生まれ
- 1990年 新潟県立長岡高等学校 卒業
- 1995年 明治大学政治経済学部 卒業
～衆議院議員(岩國哲人・城島正光)秘書
- 2005年 小金井市議会議員選挙に初当選
- 2013年 落選
～㈱ゾイム東京に入社し社員として勤務
- 2016年 復帰を決意し㈱ゾイムを退職
- 2017年 再び小金井市議会へ
民進党の解党とともに無所属に
現在、総務企画委員会の委員長を務める

【主な地域活動】

- 小金井阿波おどり振興協議会 専務理事
- 小金井新能 理事・警備委員長
- 小金井市献血推進協議会 事務局長
- 小金井市トライアスロン連合 事務局長
- 子ども達を薬害から守る実行委員会 事務局 名勝 小金井桜の会 会員
- 明治大学校友会小金井地域支部 幹事
- 小金井青年会議所シニアクラブ 会員
- はげの自然を大切にす会 会員
- 東京小金井ロータリークラブ 会員
- 小金井明るい社会づくりの会 常任理事

村山ひでき事務所

〒184-0004 小金井市本町6-13-17
サンライズ武蔵小金井702

TEL 042-386-5543

FAX 042-386-5560

携帯 090-3428-2715

Eメール hideki@murayama.tv

WEBサイト <http://www.murayama.tv>

Twitter @Murayama_Hideki

Facebook <https://www.facebook.com/hideki.murayama.52>